

春日井市民病院 歯科医師臨床研修プログラム

050157001

春日井市民病院

目次

1. 春日井市民病院の概要	1
2. 名称	1
3. プログラムの特色	1
4. 臨床研修の目標	1
5. プログラム責任者及び指導体制	2
(1) プログラム責任者	
(2) 副プログラム責任者	
(3) 臨床研修医の指導体制	
(4) 臨床研修を行う分野及び臨床研修施設	
6. 歯科研修管理委員会	2
(1) 役割	
(2) 組織	
7. 到達目標	2 ~ 8
A. 歯科医師としての基本的価値観の習得	
B. 資質・能力の習得	
C. 基本的診療業務の習得	
8. 到達目標の達成度評価	8
(1) 研修歯科医評価票Ⅰ	
(2) 研修歯科医評価票Ⅱ	
(3) 研修歯科医評価票Ⅲ	
(4) 歯科医師臨床研修の目標の達成度判定票	
9. 修了判定を行う基準	8
10. 募集定員および募集及び採用の方法	8
(1) 定員	
(2) 採用	
11. 研修歯科医の処遇	8 ~ 9
(1) 雇用形態	
(2) 勤務時間	
(3) 年収	
(4) 休暇	
(5) 時間外勤務及び当直	
(6) 宿舎	
(7) 社会保険	
(8) 健康管理	
(9) 歯科医師賠償責任保険	
(10) 研修活動に関する事項	
様式1	10
様式2	11 ~ 19
様式3	20 ~ 23
様式4	24 ~ 28
様式5	29 ~ 30

春日井市民病院 歯科医師臨床研修プログラム

1. 春日井市民病院の概要

春日井市民病院は、愛知県尾張北部医療圏の基幹病院として、初期医療から高度医療まで提供している。「救急は原則的に断らない」をモットーにしており、地域住民から厚い信頼を得ている。また、愛知県でも有数の救急車搬送台数（年間約10,000台）の実績がある。

「愛知県がん診療拠点病院」にも認定され、地域のがん診療の拠点となっている。

糖尿病センター、脳卒中センター、物忘れ外来などを開設しており、専門的医療も充実させている。

「地域医療支援病院」としてかかりつけ医との医療連携を緊密に行い、地域医療の基幹病院として貢献している。

2. 名称 春日井市民病院歯科医師臨床研修プログラム

3. プログラムの特色

これからの歯科医師に求められる資質は、単に歯牙硬組織や歯周組織の治療だけではなく、全身疾患の一部としての口腔内疾患に対応できる能力である。

しかしながら全身疾患を学ぶ機会は、歯科大学（歯学部）の教育だけでは十分とはいえない。

当院の歯科医師臨床研修プログラムの特色は、24カ月の研修期間の内の9カ月を医科で研修することである。具体的には必修として麻酔科を4カ月、内科を1カ月、耳鼻咽喉科を1カ月、形成・皮膚科を1カ月研修する。その他2カ月を自由選択で医科の各科を研修する。歯科大学（歯学部）ではあくまで座学として知っていた全身疾患の知識は、実際の患者に接することでより確実なものになるであろう。

また、近年の高齢化社会では歯科診療においても、生活習慣病などの各種慢性疾患を有する患者が増加しており、各診療科と十分に連携した診療が必要である。当院では以前より歯科医師がNSTチームや緩和ケアチームなどに参加しており、院内の他科の医師や看護師、あるいはその他の医療職とチーム医療を実践している。

歯科医師だけでなく、多職種と連携して研修する機会が多いことも当院の特徴である。

4. 臨床研修の目標

- A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）の習得
- B. 資質・能力の習得
- C. 基本的診療業務の習得
- D. 医科における研修

5. プログラム責任者及び指導体制

(1) プログラム責任者 歯科口腔外科 部長 丹下 和久

(2) 副プログラム責任者 歯科口腔外科 医長 堀部 宏茂

(3) 臨床研修医の指導体制

歯科および歯科口腔外科の研修においては、原則として見学、介助、診療のすべてを指導医の指導、監督下に行う。また他の医員及び非常勤の歯科医師がこれをサポートする。

医科の診療科の研修においては、各科の診療部長及び原則として卒後7年を経過した医師が指導に当たる。

また、多職種連携のチーム医療に関しては、看護師やその他の医療職からの評価も参考にする。

(4) 臨床研修を行う分野及び臨床研修施設

すべての研修分野は春日井市民病院で行う。

6. 歯科研修管理委員会

(1) 役割

1. 臨床研修の実施を統括管理
2. 研修プログラムの作成
3. プログラム相互間の調整
4. プログラムの質の向上
5. 研修歯科医の管理（採用、中断、修了の評価）
6. 指導歯科医の資質向上

(2) 組織

1. 病院の管理者（院長）
2. プログラム責任者
3. 研修管理室長
4. 事務部門の責任者
5. 外部委員
6. 歯科研修医

7. 到達目標

A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）の習得

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B. 資質・能力の習得

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- (1) 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- (2) 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- (3) 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- (4) 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- (5) 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

2. 歯科医師の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮できる。

- (1) 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- (2) 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- (3) 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- (4) 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- (5) 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- (1) 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- (2) 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- (3) 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- (4) 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- (1) 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- (2) 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- (3) 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- (4) 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- (1) 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- (2) 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- (3) 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- (1) 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- (2) 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- (3) 医療チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- (1) 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- (2) 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- (3) 予防医療・保健・健康増進に努める。
- (4) 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- (5) 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- (1) 医療上の疑問点に対応する能力を身につける。
- (2) 科学的研究方法を理解し、活用する。
- (3) 臨床研究や治験の意義を理解する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- (1) 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- (2) 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- (3) 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌を含む。）を把握する。

C. 基本的診療業務の習得

1. 基本的診療能力等（必要な症例数及び項目ごとの研修内容は別表1に記載）

- (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画

- ① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。
 - ② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。
 - ③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。
 - ④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。
 - ⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。
 - ⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。
- (2) 基本的臨床技能等
- ① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。
 - ② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。
 - a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患
 - c. 歯周病 d. 口腔外科疾患
 - e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下
 - ③ 基本的な応急処置を実践する。
 - ④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。
 - ⑤ 診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。
 - ⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。
- (3) 患者管理
- ① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。
 - ② 患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。
 - ③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。
 - ④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。
 - ⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する
- (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供
- ① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。
 - ② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。

別表1

項 目	研修内容	症例数
(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画		
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	初診患者に対する問診、画像検査、生体検査の指示及びカルテ記載 既往歴、アレルギー歴の記載、治療方針の決定、患者及び家族への説明	60 症例
② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。		
③ 診察所見に応じた適切な検査を選択し、実施し、検査結果を解釈する。		
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。		
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。		
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。		
(2) 基本的臨床技能等		
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	口腔内の診察、器具の使い方など	10 症例
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。		
a. 歯の硬組織疾患	う蝕処置	1 症例
b. 歯髄疾患	抜髄処置	1 症例
c. 歯周病	歯周病患者のスクーリングなど	1 症例
d. 口腔外科疾患	要抜歯歯の抜歯など	10 症例
e. 歯質と歯の欠損	義歯の修理など	1 症例
f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	舌圧の測定、嚥下モニターの使用など	2 症例
③ 基本的な応急処置を実践する。		
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	心電図、酸素飽和度、血圧計、呼吸モニターの装着	10 症例
(3) 患者管理		
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。	既往歴の問診、カルテ記載、服用薬剤のチェック	10 症例
② 患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。		
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。	生体モニターを使用している歯科処置	10 症例
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。		
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。	入院患者に対する口腔状態の把握及び指示	10 症例
(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供		
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。		
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。		

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

(1) 歯科専門職の連携

- ① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理の際に連携を図る。
- ② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。
- ③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。

(2) 多職種連携、地域医療

- ① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
- ② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
- ③ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。
- ④ 歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、接触嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。

(3) 地域保健

- ① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。
- ② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。

(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解

- ① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。
- ② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。
- ③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

D. 医科における研修

1. 麻酔科

- (1) 麻酔科カンファレンスに参加する。
- (2) 術前訪問を行う。
- (3) 気管内挿管を伴う全身麻酔を経験する。
- (4) 術後管理を行う。
- (5) その他

2. 皮膚科（形成外科）

- (1) 皮膚科（形成外科）の高頻度疾患を理解する。
- (2) 皮膚科（形成外科）の手術見学をする。
- (3) その他

3. 耳鼻咽喉科

- (1) 耳鼻咽喉科の高頻度疾患を理解する。

(2) 耳鼻咽喉科の手術見学をする。

(3) その他

4. 内科系

(1) 内科の高頻度疾患を理解する。

(2) 胸部レントゲンの読影をする。

(3) 心電図の解析を行う。

(4) 電解質異常を理解する。

(5) その他

5. その他の選択科

8. 到達目標の達成度評価

次の評価票を用いて行う

(1) 研修歯科医評価票Ⅰ（様式1）

(2) 研修歯科医評価票Ⅱ（様式2）

(3) 研修歯科医評価票Ⅲ（様式3）

(4) 研修歯科医評価票Ⅳ（様式4）

(5) 歯科医師臨床研修の目標の達成度判定票（様式5）

9. 修了判定を行う基準

(1) 研修歯科医評価票Ⅰ（様式1）

(2) 研修歯科医評価票Ⅱ（様式2）

(3) 研修歯科医評価票Ⅲ（様式3）

(4) 研修歯科医評価票Ⅳ（様式4）

すべての項目においてレベル3
（期待通り）以上であること。

(5) 歯科医師臨床研修の目標の達成度判定票（様式5）の全ての項目において「既達」であること。

10. 募集定員および募集および採用の方法

(1) 定員 毎年2名

(2) 採用 マッチングプログラムにより決定する。

マッチングの希望順位は、面接を実施した後に決定

11. 研修歯科医の処遇

(1) 雇用形態

会計年度任用職員

(2) 勤務時間 8：30～17：15（休憩時間：1日につき60分間）

(3) 年収

1年次年収 約4,500,000円／年（期末勤勉手当含む）

2年次年収 約5,500,000円／年（期末勤勉手当含む）

(4) 週休日および休日

土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）
に規定する休日 12 月 29 日～1 月 3 日

(5) 休暇

年次有給休暇 12 日／年
特別休暇 厚生休暇 3 日／年
産前産後休暇 各 8 週間
結婚休暇 5 日／年
妻の出産 2 日／年
忌引き等

(6) 時間外勤務及び当直

原則として時間外勤務はなし。しかし症例などにより時間外の研修が望ましい時は、規定により時間外手当を支給する。

休日勤務も同様である。

当直はなし。

(7) 宿舎

ワンルームマンション形式（病院敷地内、平成 10 年建築）
1 部屋当たりの面積 約 40 m² 男女共用
家賃 月額 22,000 円（専用駐車場あり 月額 2,000 円）

(8) 社会保険

健康保険（1 年目）全国健康保険協会管掌健康保険に加入
（2 年目）愛知県都市職員共済組合に加入

年金 厚生年金に加入

雇用保険 適用なし

労働災害（1 年目）労働者災害補償保険適用

（2 年目）地方公務員災害補償基金適用

(9) 健康管理

春（X線）、秋（血液、尿、眼科健診）等職員健診を実施
臨床心理士によるカウンセリング（メンタルヘルス等の相談）

(10) 歯科医師賠償責任保険

病院で加入

(11) 研修活動に関する事項

医局に研修医専用室を設置

学会、研究会への参加費用は院内規定により支給

「A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の返還に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を慎重にする。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
1-1. 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-2. 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-3. 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-4. 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-5. 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

2. 歯科医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
2-1. 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
2-2. 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
2-3. 医療事故等の予防と事後の対応を行う。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
2-4. 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
2-5. 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
3-1. 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、識別診断と初期対応を行う。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
3-2. 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
3-3. 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
3-4. 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
4-1. 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
4-2. 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
4-3. 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
4-4. 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
5-1. 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
5-2. 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
5-3. 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
6-1. 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
6-2. 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
6-3. 医療チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
7-1. 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
7-2. 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
7-3. 予防医療・保健・健康増進に努める。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
7-4. 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
7-5. 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
8-1. 医療上の疑問点に対応する能力を身につける。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
8-2. 科学的研究方法を理解し、活用する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
8-3. 臨床研究や治験の意義を理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
9-1. 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
9-2. 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
9-3. 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌を含む。）を把握する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「C. 基本的診療業務」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

1. 基本的診療能力等

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的診察を実施し、診察所見を解釈することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
③診察所見に応じた適切な検査を選択し、実施し、検査結果を解釈することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行うことができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
(2) 基本的臨床技能等	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践することができる。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

③基本的な応急処置を実践することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
④歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
⑤診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
⑥医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
(3) 患者管理						
①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行うことができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践できる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践できる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供						
①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践できる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践できる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
(1) 歯科専門職の連携						
①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理の際に連携を図ることができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図ることができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
(2)多職種連携、地域医療						
①地域包括ケアシステムについて理解し、説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
③がん患者等の周術期など口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、他職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
④歯科専門職が関与する他職種チーム(例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
(3)地域保健						
①地域保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
(4)歯科医療提供に関連する制度の理解						
①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する制度の目的と仕組みを理解し、説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明することができる。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「D. 医科研修」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

1. 麻酔科

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
1-1.麻酔科カンファレンスに参加する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-2.術前訪問を行う。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-3.気管内挿管を伴う全身麻酔を経験する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-4.術後管理を行う。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
1-5.その他（ _____ ）	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「D. 医科研修」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

2. 皮膚科（形成外科）

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
2-1.皮膚科（形成外科）の高頻度疾患を理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
2-2.皮膚科（形成外科）の手術見学をする。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
2-3.その他（ _____ ）	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	研修医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「D. 医科研修」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

3. 耳鼻咽喉科

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
3-1.耳鼻咽喉科の高頻度疾患を理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
3-2.耳鼻咽喉科の手術見学をする。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
3-3.その他（ _____ ）	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	研修医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「D. 医科研修」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

4. 内科系（ _____ 科）

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
4-1.内科系の高頻度疾患を理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
4-2.胸部レントゲンの読影をする。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
4-3.心電図の解析を行う。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
4-4.電解質異常を理解する。	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
4-5.その他（ _____ ）	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

「D. 医科研修」に関する評価

研修歯科医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 歯科医師 歯科医師以外（職種名 _____）

観察期間 _____年____月____日 ~ _____年____月____日

記載日 _____年____月____日

5. その他の選択科（ _____ 科）

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察機会なし
5-1. (_____)	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
5-2. (_____)	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導医評価	<input type="checkbox"/>				
5-3. (_____)	研修医評価	<input type="checkbox"/>				
	研修医評価	<input type="checkbox"/>				

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

歯科医師臨床研修の目標の達成度判定票

様式5-1

研修歯科医氏名： _____

A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
1. 社会的使命と公衆衛生への寄与	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 利他的な態度	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3. 人間性の尊重	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4. 自らを高める姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

B. 資質・能力

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
1. 医学・医療における倫理性	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 歯科医療の質と安全の管理	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3. 医学知識と問題対応能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4. 診療技能と患者ケア	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
5. コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
6. チーム医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
7. 社会における医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
8. 科学的探究	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

C. 基本的診療業務

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
1. 基本的診療能力等	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 歯科医療に関連する連携と制度 の理解等	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

D. 医科研修

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
1. 麻酔科	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 皮膚科（形成外科）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3. 耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4. 内科系（ 科）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
5. その他の選択科（ 科）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

<p>歯科医師臨床研修の目標の達成状況</p>	<p><input type="checkbox"/>既達 <input type="checkbox"/>未達</p>
<p>(歯科医師臨床研修の目標の達成に必要な条件等)</p>	

年 月 日

春日井市民病院 歯科医師臨床研修プログラム

プログラム責任者_____